

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム  
「サウンディング」  
案件登録様式

■ 記入票

項目	記入欄
<b>1. サウンディング情報</b>	
①団体名	町田市
②事業名	(仮称)旧忠生第六小学校(健康増進関連拠点)体育館整備事業
③本事業の現在の検討ステージ	以下の中から本案件の検討ステージを選択してください。 ①.事業発案 2.事業化検討 3.事業者選定 4.その他( )
④サウンディングの目的	○本調査は、旧忠生第六小学校用地を健康増進関連拠点として体育館と健康増進関連施設を整備するにあたり、市の財政負担が生じない手法による健康増進関連拠点の整備の可能性等を探ることを目的とする。 ○本調査でいただいた事業提案は、事業手法や施設規模、仕様、事業内容、事業期間等を具体化していくための検討に反映する。
⑤民間事業者に対する質問事項	○市の財政負担なく施設を整備する事業手法 ○整備する体育館の規模や仕様 ○整備する体育館のパラスポーツへの対応と観客席設置の可能性(観客席は、大会開催ではなく、パラスポーツの見学や観覧を想定) ○体育館と合わせて整備を想定する健康増進関連施設 ○体育館及び健康増進関連施設で実施可能な事業内容(健康増進につながるプログラムなどのアイデア、隣接して設置を進めている中学校給食センターと連携した地域貢献等) ○体育館整備と運営に必要な事業期間 ○実施にあたっての条件
⑥対話を希望する業種	①設計            ②.建設            3.不動産 4.金融機関            ⑤維持管理            6.コンサルタント ⑦.運営(体育館を含む健康増進関連施設の運営、健康増進につながるプログラムの実施、建物の維持管理) ⑧.その他(運動、医療、SPCとして他の公共施設の建設、運営に参加した実績がある業者)
⑦対話を希望する事業者の事業展開エリア	①.全国展開している事業者            ②.当該エリア外の事業者 ③.地元事業者            4.その他( )



<b>(2) 対象地</b>		
①所在地（交通情報含む）	町田市山崎町 1298-1 （町田駅からバス 23 分）	
②敷地面積	17,353 m <sup>2</sup> （使用可能な敷地面積は約 4 分の 3）	
③土地利用上の制約	第一種中高層住居専用地域 容積率/建ぺい率：80%/40% 31m第二種高度地区 準防火地域 ※体育館と給食センターを整備できるよう建築物の用途制限を緩和する予定。	
④所有者	町田市	
⑤周辺施設等	○市立小学校が隣接し、近隣には、私立幼稚園、市立中学校、都立高校、私立大学がある。 ○木曾山崎団地地区（山崎団地と木曾住宅）には、市が所有する 4 つのグラウンド（木曾山崎グラウンド、緑ヶ丘グラウンド、後田グラウンド、七国山小学校の学校開放）が立地している。 ○隣接する小学校は、グラウンド及び体育館を地域の住民に無償で開放している。 ○団地センター内には、スーパーマーケット、ドラッグストア、飲食店等がある。	
⑥対象地周辺の環境	○当該地は、山崎団地（独立行政法人都市再生機構）の北に位置する。山崎団地の南には、木曾住宅（東京都住宅供給公社）があり、戸数は合わせて 9500 戸以上。また、当該地の北には高層住宅（992 戸）がある。 ○高齢化が進んでいる。 ○最寄りの町田駅まではバスで 23 分。バスの本数は平日の日中で 1 時間に 7 本程度。	
⑦その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）	○既存の校舎、体育館は市で解体予定。 ○接道と 0～9m の高低差があり、当該地のほうが道路より低い。 ○山崎団地には多摩都市モノレールが延伸し、駅が整備される予定（時期未定）。	
<b>(3) 対象施設</b>		
<b>(3) -1. 建物</b>	<b>既存</b>	<b>整備後（予定）</b>
①施設名称		
②施設の延床面積		
③建物の構成（構造、階数）		
④主な施設の内容、 導入機能		
⑤運営状況 （運営主体、事業手法 等）		

⑥その他 (上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等)		
(3) -2. インフラ系 (上下水道、道路等)	既存	整備後(予定)
①施設名称		
②規模、能力 等		
③運営状況 (運営主体、事業手法 等)		
④その他 (上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等)		

■ 添付資料

- 町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想